

「獣医生化学」投稿規定

(平成16年8月1日一部改正)

1. 論文の内容および区分：獣医畜産生化学領域に関するもので、総説、原著および短報とする。
2. 投稿料：基本投稿料金10,000円、ページチャージ1ページ当たり1,000円とする。
3. 採否の決定：総説は、評議員による推薦と査読を受ける。原著論文は編集委員が選定した審査員2名の査読を経て決定する。
4. 論文の長さの制限：原則として下記による。図表は、原稿枚数1枚分に換算する。
 総説：原稿枚数25～30枚
 原著：原稿枚数20枚以内
 短報：原稿枚数4～5枚
5. 邦文原稿は、横書き、新仮名遣いとし、A4判用紙に各2.5cmの余白を残し、行間と字間を広くとって30字×20行程度とする。英文（文献を含む）は10ポイント以上の文字サイズを使い、ダブルスペースで作成する。
6. 論文の構成：表題、著者名、所属・所在地（郵便番号を含む）、要約、キーワード（5語以内）、および本文とする。本文は、緒言、材料および方法、結果、考察、引用文献、謝辞とし、各項目ごとに新たなページとすること。短報では、引用文献を除いてこのような項目分けをしない。また、別紙として英文タイトル、英文による著者名・所属・所在地、英文抄録（250語以内）、英文キーワード（5語以内）をつける。例外的に原著原稿が欧文の場合は、逆に別紙にて和文要約を付ける。
7. 表現法：
 - a. 本文中における文献の引用は、1)、2-5)のように該当番号を引用箇所の右肩に振る。
 - b. 外国の地名・人名等は原語または英語名を用い、固有名詞については最初の文字以外は小文字とする。
 - c. 術語については、それぞれ専門の用語集などによる。
 - d. 動植物、微生物の学名などイタリックで印刷されるべきものにはアンダーラインをつける。
 - e. 数字は算用数字とし、度量衡の単位および略語は、原則として下記の例に従う。
 km、m、cm、mm、 μ m、nm、l、ml、kg、g、mg、M (mol/l)、mM、 μ M、etc.
 - f. このほかの記号あるいは略語でも、広く慣用されるものについては使用することができるが、Biological Abstractを参照して準用する。
 - g. その他の記号あるいは略字については、論文中にはじめて使用するとき、その語の次にカッコで括って明示する。
8. 引用文献について：著書のアルファベット順に配列して片括弧を付した番号を付ける。文献の記載方法は下記に従い、短報については文献の表題を除く。
 - 1) Arai, T. and Oki, Y. (1986) Changes of glucokinase and hexokinase activities in the diabetic *Microtus arvalis* Pallas. *Jpn. J. Vet. Sci.*, 48, 833-836.
 - 2) 大木与志雄 (1986) 生体防御の生理化学. 獣医生理化学, pp327-343, (古泉巖・小原甚三・大木与志雄編), 文永堂, 東京.
 - 3) Snell, F. S. and Atkins, E. (1965) Fever. In *The Inflammatory process*, pp495-500, (Zweifach, B.W., Grant, L., and McCluskey, R. T. edit), Academic Press Inc., New York.
 - 4) 菅原盛幸, 桐谷礼子 (1987) 草食性ハタネズミ (*Microtus arvalis pallas*) の生物学的並びに血液生化学的特性. 実験動物, 36, 1-9.
9. 図表について（写真を含む）：原則として英語のみを使用し、各表・図はそのまま製版できるよう、白色または青色方眼紙に丁寧に記載、または軽く貼付し、番号（Table 1, Fig. 1など）と英文の表題、必要ならば説明をつける（原図をキャビネまたは手札型印画紙に焼きつけたものでもよい）。表・図の挿入位置は本文の右欄外に示す。
10. 原色図版：実費を著者負担とする。
11. 著者校正：原則として初校のみとし、その際新たな追加変更は許されない。
12. 別刷り50部を無料進呈する。それ以外については著者の実費負担とする。
13. 投稿の際の注意：原稿の第1ページの左肩上に総説、原著および短報の別を朱書きする。オリジナル原稿1部とコピー1部、ならびにフロッピーディスクを同封して事務局宛に送付すること。フロッピーへの保存は使用ソフト形式とテキスト形式の両者とし、使用ソフト名とバージョンを明示すること。

14. 論文等の著作権（著作権法27条 翻訳権、翻案権等、28条 二次的著作物の利用に関する原作者の権利）は、当学会に帰属させていただきます。当学会は、当該論文等の全部または一部を、当学会が認めたネットワーク媒体、その他の媒体において任意の言語で掲載、出版（電子出版を含む）出来るものとします。この場合、必要により当該論文の抄録等を作成して付すことがあります。

15. 原稿の送付先：獣医生化学会事務局
〒060-0818 札幌市北区北18条西9丁目
北海道大学 大学院獣医学研究科 診断治療学講座
臨床分子生物学教室
TEL 011-706-5580
FAX 011-706-5276

獣医生化学 第45巻

平成20年12月31日発行

発行者 獣医生化学会 会長 稲葉 睦

〒060-0818 北海道札幌市北区北18条西9丁目

北海道大学大学院獣医学研究科臨床分子生物学教室

TEL 011-706-5580 FAX 011-706-5276

E-mail: inazo@vetmed.hokudai.ac.jp

郵便振替口座 00190-1-121888

加入者名 獣医生化学会

銀行口座 北洋銀行 本店(店番号 028)

口座番号：普通預金 2269844

口座名：獣医生化学会

代表者 稲葉 睦

印刷所 中西印刷株式会社

〒007-0823 北海道札幌市東区雁来3条1丁目1-34

TEL 011-781-7501